

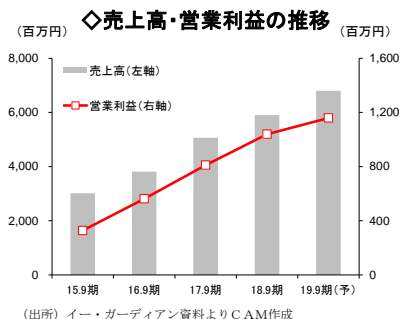
企業ニュース イー・ガーディアン

(東証1部 : 6050) <http://www.e-guardian.co.jp/>

作成者: 村上大志

ネットセキュリティの総合企業を目指す

SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) ・ブログ等のソーシャルメディアやネット掲示板の投稿監視、ゲームのユーザーサポートが主力のネットセキュリティ企業。投稿データの傾向や利用者属性を分析し、マーケティングに利用可能な情報提供やコンサルティング、デバッグ (不具合修正) やセキュリティ診断サービスも行う。アド・プロセス (ネット広告の審査、広告枠・入稿管理業務等) では、自社RPA (ロボットやAIによる業務自動化) の導入を推進しており、顧客の業務効率化に貢献している。18.9期の業務別売上高はソーシャルサポート32%、ゲームサポート41%、アド・プロセス12%、その他15%。



5年連続の2桁増収を目指す

18.9期の連結業績は、売上高が59億円、前期比16%増、営業利益が10億円、同28%増。ソーシャルサポートでは既存顧客の深耕に注力し、監視だけでなく運用や分析といった新サービスの展開が進んだ。ゲームサポートでは中国や韓国などの海外ゲーム企業の多言語カスタマーサポートが好調だった。また、海外案件の増加で2017年7月に設立したフィリピン子会社が通期黒字化を達成した。営業利益率は17.6%、同1.6ポイント増と、業務効率化が進んだ。

19.9期の会社計画は、売上高が68億円、前期比15%増、営業利益が12億円、同12%増。SNSやEコマースを含むソーシャルWebサービスの活性化が進み、ネットセキュリティの重要性は高まっている。また、フィンテックの活用や製造業によるIoT導入、海外ゲーム企業の日本進出などが活発化している。主力のゲームサポートにおいてカスタマーサービスに加え、デバッグや脆弱性診断などサービスの多様化が進んでいる点や、事業領域が仮想通貨やシェアリングエコノミーへ拡大している点を評価したい。19.9期・第2四半期に本社移転を予定しており、費用増には留意したい。

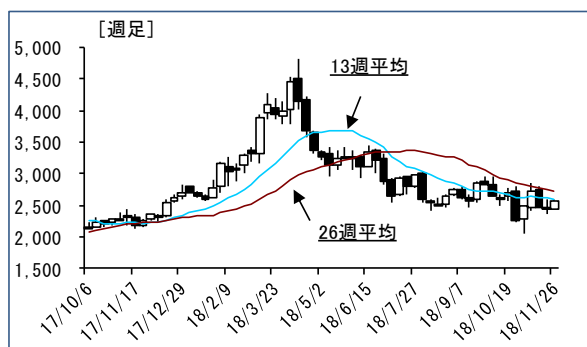
[株価動向・投資判断]

4月に3年間の平均増益率約17%を目指すとの報道で、過去の増益率との比較で見劣りするとの見方から利益確定売りが進んだ。売り一巡で中長期的な成長性に再び着目できよう。

<6050 イーガーディ 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は日経予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.9	5,067 (33)	811 (44)	840 (52)	572 (63)	56.6	6.00
18.9	5,902 (16)	1,039 (28)	1,049 (25)	736 (29)	72.1	8.00
19.9 予	6,801 (15)	1,159 (12)	1,179 (12)	814 (11)	79.8	8.00



[主要株価指標] (売買単位 : 100株)	
株価 (2018/11/26)	2,562 円
年初来高値 (高値日)	4,825 円 (18/4/10)
同 安値 (安値日)	2,056 円 (18/10/30)
予想 P E R (19.9 予)	32.1 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	279.3 円
P B R	9.17 倍
予想配当利回り	0.31 %
(1株当たり配当金8.00円)	
R O E (18.9)	28.9 %
発行済み株式数	1,041 万株